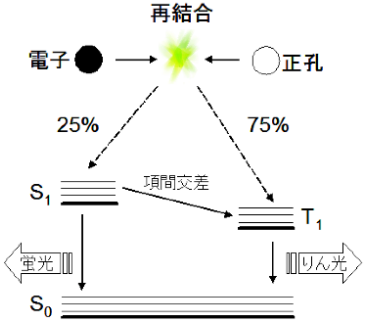
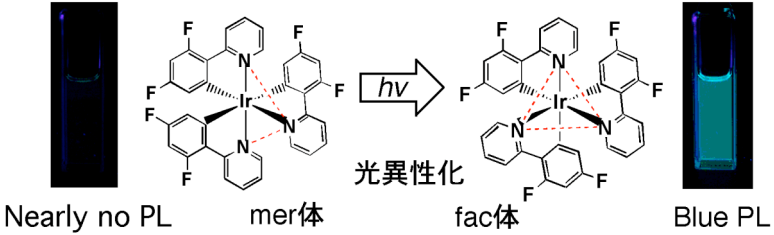
（１）有機エレクトロニクス用有機材料の合成と光化学

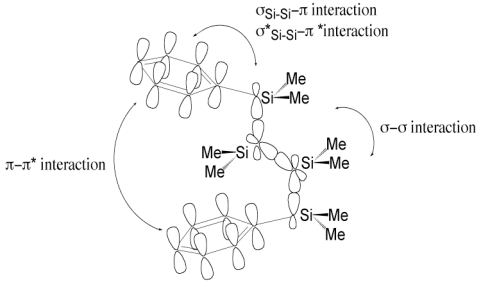


近年急速に開発が進展している有機エレクトロニクス用の有機発光材料の新規開発や、発光能・耐久性につながる光物理・光化学的特性を研究している。特にリン光型発光材料であるイリジウム錯体は発光効率の点で優れており、電荷の再結合で 100%にせまる発光効率が期待でき、更なる性質の解明が必要である。



（２）有機ケイ素化合物の分子内相互作用と光誘起電荷・エネルギー移動機構の解明

炭素と同族でありながら特徴的な性質を持っている有機ケイ素化合物を、光によって電荷・エネルギーを輸送させることができる材料として研究している。



（３）フォトポリマーやフォトクロミック材料の光反応機構の解明

印刷やエレクトロニクス製造過程で重要なフォトポリマーや、光による記録材料として有望なフォトクロミック材料の開発と反応機構を解明するための研究を行っている。

